

おはようございます。洗足学園中学国語科の中島と申します。いま受験生のみなさんが取り組んでいる国語の問題の解説をさせていただきます。お手もとの問題冊子1頁をご覧ください。

1の説明文は南野忠晴『正しいパンツのたたみ方』からの出題です。社会と労働のかかわりについて述べた文章です。

問一は1頁上段16行目傍線1「『個人の生活』と『社会』の関係が、『労働』というものを通じてしっかり結びついていました。」を説明する問題です。傍線部の直前に「それくらい」とあるように、13行目からは始める段落がこの傍線部の具体例です。この具体例は、農家の労働の成果であるお米が他の人の食生活とかかわっていることを示しています。そして、それは1行目から12行目にかけて書かれている、労働を介した社会と個人の生活の関係の説明の流れで出てきますので、そこをまとめます。特に1行目から7行目に着目します。必要な要素としては「一人ひとりの労働によって社会が成り立つ」ということと、「労働の成果によって個人の生活も成り立つ」ということです。なお、設問に合わせて、答案の文末は「～こと。」にする必要があります。

問二は1頁下段33行目傍線2「ファーストフードで接客のアルバイトをしている生徒」の労働に対する気持ちの説明としてふさわしいものを選ぶ問題です。1頁下段35行目から38行目のかぎかつこのなかの記述に合致しているものを選びますので、答えはエです。他の選択肢を見ますと、アは「接客の楽しさを感じるようになっており」、イでは「自分の収入が社会貢献につながると感じている」、ウでは「社会のためになるように」という箇所が誤っています。

問三は1頁下段43行目傍線3「社会のためって感じじゃない」とあるように、現在の人々が感じる理由を説明する問題です。これは傍線部の少し後の47行目から52行目に述べられていることをまとめます。要素としては「自分の利益を生み出すため」であること、「社会」の規模が大きくなり「労働現場や働き方の形態が細分化され」「自分の仕事の社会の役割が見えにく」くなっている、などが必要です。設問に合わせて、答案の文末は「～こと。」にする必要があります。

問四は2頁上段89行目傍線4「ちょっと話が大きくなりすぎました。」がどういう点を指しているのかを説明する問題です。この文章は最初から労働と生活、社会といった身近な規模の小さい話だったのですが、2頁上段90行目から地球の絶滅におよぶ地球規模の話になっていますので、こういったことを書きます。設問に合わせて、答案の文末は「～点。」にする必要があります。

問五は2頁下段112行目傍線5「『自立』もまた社会参加という文脈の中でとらえる必要がある」のなかの「自立」を説明している箇所を抜き出す問題です。この文章で「自立」はどのように捉えられているかといいますと、2頁上段90行目「『お互いさま』という言葉は、別の見方をすれば、『自立』を意味する言葉になります。」とあり、91行目からその「お互いさま」の説明がありますので、「自分でやれることは」から数えて50字あたりの切れ目を探します。最初と最後の五字という設問なので、「自分でやれ」から「態度のこと」となります。

問六は空欄AからDに適切なことばを入れる問題です。Aにはア、Bにはエ、Cにはウ、Dにはイが入ります。

問七は漢字の書き取りです。楷書で丁寧に書く必要があります。

問八は本文の内容に合致しているものを選ぶ問題です。1頁上段24行目に「実際、自分の家庭が経済的に恵まれていなかったり、就職を希望しても内定がとれずフリーターしか選択肢がないなどという状況になったとき、すべて家族や自分自身が悪いと考えてしまう生徒がたくさんいます。でも、当事者だけが悪いなどということは絶対にありません。「労働が社会に対する義務」なのであれば、「個人個人に合った仕事を用意するのは社会の側の責任」なのです。」とあり、これとほぼ同様のことを述べているウが正解です。他の選択肢を見ますと、アでは最後の「感謝は不要だと言われている」が本文にはありません。イでは、なかほどの「若い人たちほど」という表現が本文の内容からずれています。エでは終わりの「ボランティア労働がもっとさかんになるべきだ」というのが誤りです。

続きまして[2]の物語文の解説に移ります。草野たき『グッドジョブガールズ』からの出題です。

問一は「見る」を使った慣用句の問題です。一はア、二はイ、三はエ、四はオ、五はウです。

問二は4頁上段40行目傍線2「頭がクラッとなるほど驚いた」の理由を説明する問題です。傍線部の直前に「待合室の入り口に立っている人たちを見て」とあります。この人たちとは、7行目にあるように、「由香と桃子と黒沢先生」の3人ですが、9行目に「由香や桃子までくるなんてきてない」とあるので、このことが解答の要素の一つとして必要です。さらに、この由香と桃子は、13行目「こんなときだから会いたくないふたりなのに」あるいは29行目「ふたりの前でそんな弱い自分を見せるわけにはいかない」という関係である要素も必要となりますが、「こんなとき」を具体的に示します。文章を読み進めていくと、あかりの父親が病気で入院していることがわかります。したがって、父親が入院しているつらい状況の今は由香と桃子には会いたくない、ということと、来ると聞いていなかった由香と桃子とが見舞いに来た、ということと、が解答では必要となります。

問三は4頁上段28行目の[3]に入ることばを選ぶ問題です。27行目に「本当なら」とありますように、15行目から26行目にかけて書かれているような会話をかわせる友人関係が望ましいということですので、ここはイの「理想」が正解です。

問四は4頁下段43行目傍線4「あかりから目をそらして気まずそうな顔をしているばかりだ」といった様子をしていた桃子が、5頁上段76行目「はじめてあかりの顔を見てつづけた」とあるように、あかりの顔を見ることになった理由を説明する問題です。二つの傍線部の間にどのようなことがあったのかを確認します。4頁下段47行目「チアダンス、栗田さんもやるって」および57行目「お父さんも、長谷川さんが踊るのすごく楽しみにしているっておっしゃたし」という黒沢先生の発言から、64行目「つまり、黒沢先生は桃子に、あかりのお父さんがチアダンスを楽しみにしているから、いっしょにやってみてほしいってお願いしたのだ。」とあかりは推測しますが、それによってあかりは、71行目「お母さんがいないうえに、お父さんまで病気で、桃子にみじめだと思われるなんて、たえられない。」という気持ちになり、73行目「うれしくないから！」と言います。この発言を受けて桃子は、75行目「じゃあ、やめよう」と言って、はじめてあかりの顔を見ます。そのあとの77行目以下の桃子の会話文によって、チアダンスをやるように黒沢先生に頼まれたことが明かされます。こういった背景を踏まえて、桃子の変化を考えます。桃子にとってチアダンスをすることは自分から望んだことではありませんが、急に引き受けた理由は本来は黙っているべきことです。しかし、あかりの「うれしくないから」という言葉によって、本当の理由を話す気になったのです。その意志がはじめてあかりを見るということにつながったわけです。したがって、解答の要素としては、「一緒にチアダンスをすることをあかりがいやがったため」

ということと、「急に引き受けた理由を隠さずに話そうと思った」ということが必要となります。なお、理由を問う問題ですので、文末は「～から。」とします。

問五は5頁上段81行目傍線5「桃子の言葉は、まるで国語の時間に文章を読まされているみたいに、なんの気持ちもこもっていなかった。」の理由の説明としてふさわしいものを選ぶ問題です。「なんの気持ちもこもっていなかった。」という表現に着目すると、これはAの後半にある「感情を隠しておかないといけない」といった内容とほぼ同様であることがわかります。したがって正解はAです。他の選択肢を見ますと、Iは「あかりの同情を得ようとしている」というのが的外れです。Uは「先生に無理やり事情を説明するように頼まれていて」が本文の内容に合っていません。Eは「そのセリフを読み上げながら話していた」というのが本文にはないことです。

問六は5頁下段122行目傍線6「そのあやしい空をぼんやりと見つめつづけた。」が示しているあかりの気持ちを述べる問題です。「あやしい空」はどのようなものかは、5頁下段112行目「あの雲が近づいてきたら、きっと雨になる。そう予感させるようなあやしい雲」の箇所がヒントになります。一言でいえば、事態の悪化への不安、恐れが暗示されています。もう少し具体的に言えば、ここではあかりの父親の病気の悪化を不安に思う気持ちです。

問七は空欄A～Dに適切な修飾語を入れる問題です。Aがエ、Bがウ、Cがア、Dがイです。

問八は本文の内容に合致しているものを選ぶ問題です。5頁上段78行目「あかりのお父さんが楽しみにしているから、いっしょにチアダンスやってあげてほしいって、頼まれたんだよ」とあり、これとほぼ同様のことが書かれているのはEですので、Eが正解です。他の選択肢を見ますと、Aは「あかりが自分から話しかけようとしなかったのを見かねて」以下が、本文からずれています。Iは後半の「三人が仲がよいことを見せるように」が合致していません。Uは「あかりは、そのような理由でチアダンスをしても、父親は少しもうれしく感じないだろうと思っていた」が本文に書かれていません。

以上で国語の解説を終わります。ご清聴ありがとうございました。